

実施日 2022年9月22日（木）

場所 奥日立きららの里（茨城県日立市入四間町863-1）

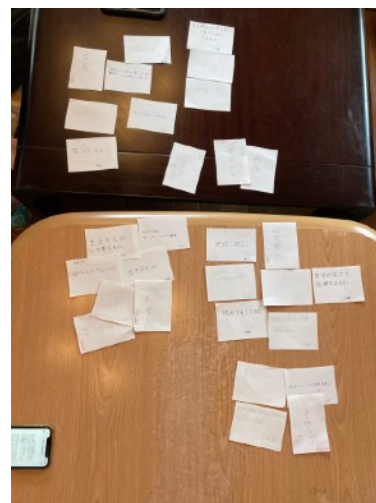
内容 日帰りゼミ行事（ワークショップ等）

参加者 3年生4名、4年生4名、引率教員（上田）

昨年新設された本ゼミでは、昨年もゼミ行事を計画したが新型コロナウイルスの感染拡大により断念した経緯がある。懇親会なども開くことができず、ゼミ生同士が交流する機会を持ってないでいた。本年度は行動制限が緩和されてきたこともあり、合宿系の企画運営により、4年生（1期生）、3年生（2期生）を交えた初のゼミ行事を日帰りで行った。場所は日立駅からバスで30分ほどの山間にある「奥日立きららの里」で、ケビンと呼ばれるロッジを貸し切りにして行った。



ワークショップでは、ゼミ生同士の話し合いにより事前に決めた2つのテーマ、「労働」と「生」について、次期ゼミ長（3年）の司会によりディスカッションを行った。まず「労働」に関しては、最初に「なぜ労働するのか」について、各自が考えたことをアイデア毎にカードに記入し、次に全員のカードをグループ分けした。そして参加者がそれぞれ発言し、テーマに関して議論を深めていった。ディスカッションの中では、就活中の4年生から実体験を交えた話もあり、3年生には特に刺激になったようである。



二つ目の「生」については、フリートーク形式でディスカッションを行った。まず発題者が生と死をめぐって意見を述べた後、発言したい者が自由に発言する形式をとった。場が温まってきたこともあり、司会者がほとんど指名することなく、全員が自由に議論に加わり積極的に発言した。



引率教員はディスカッションには加わらず離れた場所で見守っており、各テーマの議論の最後にコメントするにとどめた。抽象的なテーマを具体的な内容に落とし込み、単に自説を一方的に展開するのではなく、相手の意見をくみ取りながら自分の意見を表明する、真の意味での議論を学生自らの手で実現できたことは印象的であった。



ワークショップ終了後は、1時間ほど自由行動の時間をとって各自園内を散策したあと、食堂併設の屋外バーベキュー場で遅めの昼食をとった。なお鉄板式のバーベキューではあったが、間隔をとり1テーブルあたりの人数を減らす、取り箸を別にする、飲酒はしないなど、感染対策に留意して行った。この後集合写真を撮り、お開きとなった。



台風の影響もあり天気が心配されたが、幸いなことに雨に降られることはなかった。園内は予想以上に起伏の激しい地形で、ケビンにたどり着くまでに体力を使うハプニングもあったが、遠くの山々を見渡せるロケーションで、リラックスした雰囲気での議論ができた。本ゼミは普段は文献講読を主体とするが、大学とは違う場所で、違った形式での議論をすることで、ゼミ生同士が互いのことを知り交流を深めることができたように思う。来年度以降の継続開催を期待している。最後に、企画運営を一手に引き受けた合宿係の労をねぎらうと共に、参加者の交通費（電車代・バス代）を補助して頂いた後援会に厚く御礼申し上げます。

2022年9月26日 上田悠久